

担当教員名	神野 真敏	所属 (学部学科)	経済学部経済学科
実施年度・クォーター	2021・Q3		
授業名	南山	経済専門演習 II	
	パートナー		
カテゴリ	ベーシック COIL	<input checked="" type="checkbox"/> アカデミック COIL	PBL COIL
パートナー教員名		パートナー所属	Arizona State University
参加 学生数	南山	経済専門演習 II のゼミ生 13 名	
	パートナー	ASU のボランティアの学生 5 名	
使用言語 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 英語	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語	その他言語 ( )
使用ツール (複数回答可)	Facebook LINE Skype YouTube Canvas <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( Zoom )		
交流内容 (概略)	ゼミ生が考えた地域経済の活性化政策について、海外からはどのような感想や意見を持つのか、ASU においてボランティアの形で参加を募り、Zoom を用いてゼミ生の発表を聞いてもらった。その際、ASU の学生には単に発表を聞くだけでなく、できる限り日本語でコメントや質問などをしてもらい、お互いの語学力を高めるように努めてもらった。		
期間・回数	10 月 5 日のみ (1 回)		
評価方法	発表時やコメントに対するリプライでの英語表現について評価した。		
コメント	<p>各グループの発表の後に、ASU の学生から発表についてコメントしてもらった。ASU の学生からは、南山の学生が、書いてある英語を読んでいる時間が長いため、内容自体は魅力的だが、発表には工夫が必要だという指摘を受けていた。この点は、学生の今後に期待したい。</p> <p>その後、グループごとの Breakout Room における相互の交流では、non-native language が交流言語として使われており、お互いの言語能力を高めようとする意気込みがみられた。このような機会を増やし、学生の言語能力に対する意識を高め、その能力の向上につながってくれればと考えている。</p>		